

5月25日は世界甲状腺デー

「甲状腺の健康、甲状腺疾患治療の進歩の認識と理解を促進するための日」として、2008年に欧州甲状腺学会の創立記念日である5月25日が世界甲状腺デーとして制定されました。以後、米国、ラテンアメリカ、アジアオセアニアの各甲状腺学会は、世界甲状腺デーの時期に甲状腺疾患の様々な啓発活動を行い、日本甲状腺学会も、2016年から日本各地で市民公開講座による啓発活動を続けています(2020～2022年はコロナ禍の影響で休催)。本年の市民公開講座は、第67回日本甲状腺学会学術集会期間中の10月5日(土)に、パシフィコ横浜ノースにて「バセドウ病を患った女性の成長とその家族を描いた映画『わたしのバタフライ～寛解のとき～』の上映会」を開催予定です。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております。

本年から、日本甲状腺学会は、WebサイトやSNSを駆使して、各方面から世界甲状腺デーの情報発信を行うようにしました。日本甲状腺学会(主催)と日本内分泌外科学会・日本甲状腺協会(共催)、さらに、甲状腺疾患に関連した検査・治療に携わる多くの企業に賛同いただき、2024年5月20日から世界甲状腺デー周知週間として一斉に情報が発信されます。

甲状腺ホルモン検査を受けましょう

甲状腺ホルモンは、成長や発達を促し、新陳代謝を盛んにする身体に不可欠なホルモンです。

甲状腺ホルモンが過剰になったり、不足したりすると、全身に**さまざまな症状**が現れます。

甲状腺の病変は女性に多く、女性のライフサイクルとも密接にかかわっています。

思春期
思春期前や思春期の女性では月経不調が起こりやすくなります。

妊婦
流産が増えたり、胎児の成長に影響を及ぼしたりします。

更年期
更年期障害とよく似た症状が現れることもあります。

出産後
出産後、育児ノイローゼのような症状が現れることもあります。

気になる症状がある方は医師に相談しましょう。

5月25日は『世界甲状腺デー』

「世界甲状腺デー」は、世界中の甲状腺患者さんのために、病気の啓蒙、予防、克服を目的として、2008年欧州甲状腺学会によって制定されました。日本甲状腺学会では「世界甲状腺デー」に合わせて、甲状腺疾患の啓発活動を実施します。

日本甲状腺学会
Japan Thyroid Association

2024年5月20日

日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺協会